

平成29年度 播磨町の教育



播磨町立幼稚園、小学校、中学校の本年度の【教育スローガン】及び【本年度の主な取り組みと成果】を報告します。広報はりま6月号でお伝えした【教育方針】とあわせてご覧ください。

▶問合せ 学校教育グループ ☎ 079 (435) 0545

蓮池幼稚園

園長 富山 智子

つなげよう 人と人 心と心

— 様々な人との関わりの中で優しさ・思いやりの気持ちを育む —

はじめに

今年度は、幼児がさまざまな人と関わる中で、優しさや相手を思いやる気持ちを持ち、つながりが深まっていく喜びが感じられるように取り組んできました。

取り組みの成果と課題

- ・互いの思いを伝え合う機会を多くもつことで、相手の気持ちをわかって関わろうとする姿が見られるようになってきています
- ・相手がうれしいと感じる言葉や相手に自分の思いが伝わる言い方などその時を逃さず伝えていくことで、いろいろな表現の仕方に気付くことができるようになってきました
- ・異年齢児との関わりを通して、あこがれや感謝の気持ち、相手のことを気に掛けたり、思いやったりする気持ちが育ってきています
- ・小学生や中学生、地域の人などさまざまな人とのふれあいを通して優しさやぬくもりを感じ、自分から親しみをもって関わろうとする姿が見られるようになってきました

おわりに

これからもさまざまな人と関わりながら、心豊かになるよう一人ひとりを大切に、支えていきたいと思えます。今後もご支援やご協力をよろしくお願いたします。



播磨西幼稚園

園長 木村 詳司

育てよう 豊かな心 元気な体

はじめに

本園では、何事にも意欲的に取り組み、自信をもって行動できる「こころ」と、健康で安全な生活ができる「からだ」を育てていくために、園児理解に努め、家庭・地域と連携を密にとりながら幼稚園教育を進めてまいりました。具体的には、

- 1 「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子に
- 2 人の話が聞ける子に

を重点課題として教育活動を進めていきました。



取り組みの成果と課題

- ・毎月の幼稚園だよりや、園長のたよりを積極的に発行し、開かれた幼稚園づくりに努めました
- ・「ほめる」ことを指導の柱とし、子どもたちの意欲づけや自信につなげていきました
- ・園児個々の特性を十分に共通理解し全職員で園児を育てる体制づくりに努めました
- ・報告・連絡・相談体制を充実させていけるように、職員会議などでも誰もが発言できるような職場づくりに努めました
- ・シニアクラブの方々、絵本ボランティアの方々や小学生・中学生ともふれあえる機会を積極的に作り、温かい気持ちや思いやりの心を育てることに努めました
- ・さまざまな研修を積極的に行い園児一人ひとりの発達や学びに生かせるように保育内容の充実を図りました

おわりに

保護者の皆さま、地域の皆さまにはいつもご理解とご協力を賜りほんとうにありがとうございます。また播磨町内外問わず各関係機関の皆さまにもさまざまなところでお力添えをいただき感謝申し上げます。

おかげさまで平成29年度も終わりますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

播磨幼稚園

園長 柘田 いづみ

自分の思いを伝えよう

はじめに

今年度は、“幼児期の終わりまでに育ってほしい姿”の中から「言葉による伝え合い」を特に意識して保育に取り組んできました。

取り組みの成果と課題

- ・言葉だけでなく、幼児の表情や動きなどから思いや考えを読み取り、それを意識して関わってきたことで自分の気持ちを言葉で伝えられる幼児が増えてきています
- ・幼児一人ひとりの発達に応じた課題を把握し、その課題に応じた関わり方を工夫することで、幼児と教師の信頼関係が深まっています
- ・友達や異年齢児、地域の人などさまざまな人と関わる体験の場をつくったことで、自分の思いを伝えられるような場ができました
- ・年齢や時に応じて、自分の思いや気持ちを相手にうまく伝えられないこともあるので、意志の疎通が図れるように教師が互いの思いの橋渡しをしていく必要があると思います

- ・教師は、幼児の言動から内面を読み取る能力を養っていかねばならないことと、常に幼児が話し掛けたいような雰囲気醸成を醸し出すことを意識していかねばならないと思います

おわりに

今後も、家庭や地域の皆さまに温かく見守っていただきながら、“幼児期の終わりまでに育ってほしい姿”を意識して保育を進めていきたいと思えます。



播磨西小学校

校長 藤井 丈夫

夢かがやき

ともに学びをきりひろく 心豊かな西っ子の育成

はじめに

本校では、上記の教育目標を掲げ、基礎的・基本的な知識や技能の定着、主体的に取り組む学習態度、また豊かな心と困難にくじけないたくましい健康な体を備えた真の「生きる力」を育成するよう取り組んでまいりました。



取り組みの成果と課題

知（よく考える子）

毎朝の「のびのびタイム」では、発声練習の後に、計算・視写・音読・お話タイム・読書を継続的に行い、言語活動や計算練習などの基礎学力の定着に努めました。さらに今年度は、国語科を中心に授業研究を進めています。

徳（思いやりのある子）

数年にわたり道徳教育について研究してきており西小スタイルの道徳の定着を図りました。また、来年度から実施される道徳の教科化に向けて、授業研究、授業時間の確保、カリキュラムの見直しを行いました。

体（明るく健やかな子）

なわとびや持久走で、自分の記録に挑戦し、たくましく健康な体づくりを目指しています。また保健委員会では、「げんきくんとしよぼんちゃん with こころ」のビデオを制作し、全校放送で朝食の大切さについて啓発活動を行いました。この作品は、東北播磨地区視聴覚教材コンクールで最優秀賞に選ばれました。

おわりに

保護者の皆さま並びに地域の方々には、学校行事や学習活動、また登下校の見守りなどでお世話になりました。それらの支えによって大きな混乱もなく教育活動を行えたことを感謝しています。

播磨南小学校

校長 財田 和明

いっぱいお話しができる子に、そして豊かに自分の気持ちが語れる子へ

はじめに

本年度は具体的に、「挨拶が上手にできる子に」「友だちとたくさん遊べる子に」「好奇心いっぱいの子に」を目指す子ども像として取り組んでまいりました。

取り組みの成果と課題

朝の活動として、1時間目が始まるまでの20分間の前半10分間を曜日毎に読書・音読タイム。後半の10分間を曜日毎に漢字学習、計算練習の時間に、毎日のお昼にも読書タイムとして毎日実践しています。その成果として読書好きの子が増え、苦も無く長文を読むことができるようになってきました。また終業式には音読集会で日頃の音読の成果を学年ごとに発表しています。夏休みにはご家庭にご協力をいただいて、1・2年生は自由課題として、3年生以上は宿題として「図書館を使った調べる学習コンクール」に応募しました。おかげさまで多数の作品が入選しました。

児童会活動では、児童集会において全校生の前で委員会の代表として、または学年や学級の代表として自分の想いを自分の言葉で、聞く人の心に届く話し方。「語り」ができるよう取り組んでまいりました。各教科での発表や児童会活動の集大成として卒業式での6年生一人ひとりの言葉が「語り」となります。

おわりに

今後も学校教育目標の実現に向けて取り組みを進めてまいります。本年度の成果も保護者や地域の皆さま、教職員でがっちりと協力できた結果です。今後ご支援のほどよろしく申し上げます。



播磨小学校

校長 平郡 秀幸

知・徳・体の調和のとれた児童の育成

～ はりまっ子一人ひとりを大切に～



はじめに

本校では今年度も上記の教育目標を掲げ、～はりまっ子一人ひとりを大切に～をスローガンに子どもに寄り添い、向き合いながら「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を培い、『生きる力』の基盤づくりに努めて参りました。

子どもたちが毎日いきいきと生活できる学校、教職員がやりがいを感じて職務を遂行できる学校、地域に愛される学校でありたいと思います。

取り組みの成果と課題

他者の頑張っている姿をしっかりとみる、自分自身も一生懸命にする、何事もみんなで協力し支え合う「みる・する・支え合う」学校生活を送ることができるよう、一人ひとりを大切に教育に取り組んで参りました。また、PTA活動や地域活動にも全教職員が関わり、貴重な体験ができました。

子どもたちは毎朝元気に笑顔で登校し、挨拶を交わし、授業も意欲的に取り組み、一体感を感じます。そして、1日の学校生活を終え、下校していく子どもたちの後ろ姿に、明日につながる可能性も感じます。

近年、本校の教員は一気に若返りましたが、授業力・指導力の向上に向けて積極的に研修することで教師力もアップしています。今後も、職員間の協力体制を強化し、播磨小のチーム力をさらに高めることで、児童と教職員全員の知・徳・体の力を伸ばしていきたいと思ひます。

おわりに

保護者並びに地域の皆さま、そして播磨町行政をはじめ各種関係機関の皆さま方には、本校の教育推進と環境整備にご尽力いただき、心より感謝いたします。今後も変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

蓮池小学校

校長 山田 誠亮

未来を拓く子どもたちの豊かな人間力の育成

はじめに

子どもたちが心豊かに将来の夢や目標を持ってたくましく生き抜いていけるように、確かな学力と豊かな心、健やかな体を育てるために、教職員が一丸となって取り組んで参りました。

取り組みの成果と課題

言語活動を通し、さらなる算数教育の充実
「説明する算数教育」をテーマとし、子どもたちの説明力の向上に取り組まれました。この言語能力の向上は、すべての学習の基盤となるものです。その結果、根拠をもとに自分の考えがしっかり説明できる子、友達の意見と自分の考えを比べながらしっかりと聞ける子が増えてきました。また、算数教育研究発表会や研修会を通して、教師の指導力向上が見られました。

学校・家庭・地域の連携の充実

学校公開や学校行事を通して、生き生きとした学校生活の様子を保護者や地域の人に見ていただくことが、子どもたちの励みとなり、大きな成長が見られました。

また、「登下校の見守り」や「学習支援ボランティア」、「灯定るの会」や「なでしこの会」など多くの方々のご協力により、子どもたちは安全でより良い教育環境の中で学校生活を送ることができました。

おわりに

これからも、学校・家庭・地域がともに手を携えて、子どもたちの夢の実現を目指し、子どもたちを温かく育てていきたいと思ひます。今後も、皆さまのご理解やご協力をよろしくお願いいたします。



きゃんぱすだより

楽しいね!なかよし会!!



子どもたちの大好きなお話遊び。年長組では、お気に入りの絵本を家から持ち寄ってお話を選ぶところからスタートです。みんなで相談し、みんなが納得できるお話を選ぶことができると次は…役割を決めるのもセリフを考えるのも自分たち。「このページはどんな気持ちなんやろ?」「絵本にセリフないから作ろう!」と、絵本とにらめっこしながら友達と相談し、アイデアを出し合っ

蓮池幼稚園

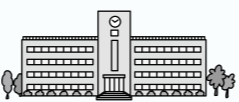
子どもたちの大好きなお話遊び。年長組では、お気に入りの絵本を家から持ち寄ってお話を選ぶところからスタートです。みんなで相談し、みんなが納得できるお話を選ぶことができると次は…役割を決めるのもセリフを考えるのも自分たち。「このページはどんな気持ちなんやろ?」「絵本にセリフないから作ろう!」と、絵本とにらめっこしながら友達と相談し、アイデアを出し合っ

ゆとりある学校生活のためご協力をお願いします

▶問合せ 学校教育グループ ☎079(435)0545

児童・生徒のゆとりある生活の確保、心身のリフレッシュやスポーツ傷害などの防止、教職員が児童・生徒と向き合う時間の確保のため、県教育委員会では新対策プランを策定し、「ノー部活デー」や「教職員定時退勤日」を実施しています。保護者や地域の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

- ノー部活デー 平日週1日、休日月2回以上
 - 教職員定時退勤日 週1回以上
- ※実施日は各学校で設定します。



「運動する(1)」 太陽のもとで遊びや運動をすることで、頭スッキリ、やる気まんまんになるホルモンがたくさん出ます。体を動かすことで様々な刺激を受け、好奇心やチャレンジ精神だけでなく、社会的なスキルも身につけていきます。何よりこのような成長が、記憶・理解などの学習能力を高めることにつながるとも言われています。

家の中ばかりで遊ばずに、外で思いっきり体を動かすことが大切です。

あたたかな春の陽差しを体中にあびて、頭も体もやる気まんまんにしていきましょう。



「運動する(2)」 やる気をささえる生活習慣として①食べること②眠ること③運動することは、頭も体もやる気まんまんにするために大切です。「やる気」をやる

家庭教育コラム⑤
かがやいた未来のために
— 毎朝の習慣 —
播磨町家庭教育推進委員会



生徒会活動を振り返って

県立播磨南高等学校 生徒会

播磨南高等学校生徒会は、これまでにふれあいフェスタや大中遺跡まつりなどの行事に参加させていただき、その行事の中で、様々な人たちと交流することの楽しさや大切さを学ぶことができました。

地域の人と交流することで、絆の輪を広げることができる喜びは、この活動ならではの楽しみです。校内でも生徒会が中心となり、「生徒が主人公」というスローガンのもとで、よりよい学校づくりに励みました。

しかし、生徒会の中では、意見が合わないことや過干渉することが多々ありました。その様なときでも仲間と協力し合うことで乗り越え、成長することができました。そして、全ての行事を終える頃には、大きな達成感を感じることができました。このような貴重な経験をこれからの高校生活だけでなく、未来へと繋げていくと共に新たなステージの第一歩にしたいと思っています。そしてこの生徒会で学んだことを次の代へ引き継ぎ、新しい生徒会がさらに良いものへと成長することを願っています。

播磨中学校

校長 木下 康雄

校訓「明朗・自治・創造」の実現を目指して

はじめに

「チーム播中」として、全教職員の組織力と地域に開かれた信頼される学校の中で、生徒たちが自立し社会で生き抜く「生きる力」を育てられました。

取り組みの成果と課題

学習指導と生徒指導の充実

道徳教育の研究発表会を通して、教員の授業力向上が図れました。授業では、生徒の基礎・基本の定着と活用力の育成と主体的で対話的な深い学びとなるわかる授業を工夫しました。生徒指導では、多くの教師の関わりや情報共有を図り、生徒と教師の信頼関係を基本に家庭や関係機関との連携、早期対応・解決を図りました。

学校行事・生徒会活動の充実

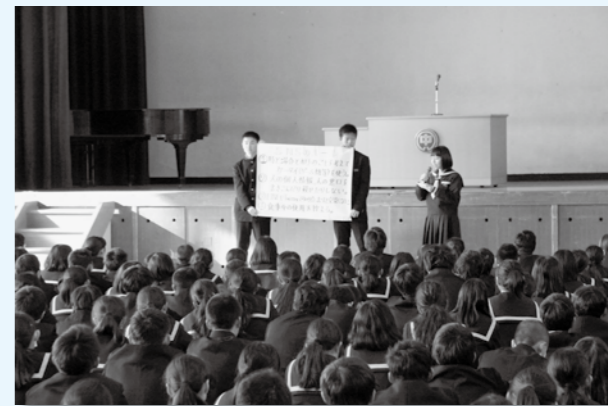
「あいさつ」からはじまる温かい人間関係づくりから、いじめのない居場所がある学級づくりを目指しました。体育大会や文化祭などの学校行事を通してさらに生徒と教員の信頼関係が構築され、日々の委員会活動や球技大会、SNSのルールづくりなど意欲的な生徒会活動になりました。

家庭・地域社会・関係機関との連携

学校の広報活動やPTA活動を推進し、学校行事から生徒の生き生きとした学校生活を保護者や地域の人に見ていただく学校公開の機会を充実させました。また、福祉教育や救急法など関係機関の皆さまから専門的な指導や支援を得ることができました。

おわりに

生徒たちは、多くの皆さまとの関わりなかで成長していきます。今後とも保護者や地域の皆さま、関係団体のご理解やご支援をよろしくお願いいたします。



播磨南中学校

校長 藤原 正純

社会的自立を目指し、未来に向かって主体的に生きる力の育成

～ 南中の「あ・ひ・る」を大切に～

はじめに

「南中の「あ・ひ・る」を大切に育てていこう」を全校生の合言葉に、「生徒のいるところに教師あり」を全職員の基本姿勢に、みんなが気持ちよく学校生活を送れるように尽力しています。

取り組みの成果と課題

学習指導の充実

授業の基礎・基本を徹底し授業改善に努めており、落ち着いた中で授業が行われています。また、「家庭学習の手引き」を作成・配布・説明し、課題である家庭学習の定着にも取り組んでいます。

生徒会活動・学級会活動の充実

生徒会のスローガンである「みんなでつくろう南中の絆」を校舎に掲げ、より良い南中づくりのため、よく頑張ってくれました。また、集団生活の中でさまざまな行事を通し、生徒たちはたくさんのお話を学びました。それぞれの個性を認め、尊重し合えるような学級・学年・学校づくりを継続していきます。

あいさつの励行

「あ・ひ・る」の『あ』をたえず意識し、毎朝生徒が校門であいさつ運動を展開しました。また、各学期はじめにはPTAによる声掛けも実施しており、あいさつをする習慣が定着しつつあります。温かい人間関係づくりのためにも、さらにあいさつの輪を広げていきたいと思っています。

おわりに

「地域の中の学校」を意識し、今後とも生徒・保護者・教職員が一体となって、南中の発展を目指します。今後とも地域の皆さまのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

